

2019 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	田所 弘基
研究テーマ	日本近代文学と美術の相関に関する研究
研究概要	明治大正期の詩歌を中心に、文学作品と美術作品の表現方法の相関性について検討する。特に高村光太郎の短歌、詩作品にあらわれる美術評論の理論を手がかりに、同時代の文学者と美術理論の相関を明らかにする。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>① 高村光太郎『道程』の詩歌の読解 前年に引き続き、『道程』に収録された詩歌について検討した。特に、詩「夏の夜の食慾」については、詳細に詩句の意図を検討し、下記記載の論文として発表し、これまで不明とされてきた箇所を明らかにして指摘した。</p> <p>② 高村光太郎の戦争協力詩の読解 大政翼賛会編『詩歌翼賛 第一輯』（目黒書店、1941）収録の詩「地理の書」、『大東亜戦争 愛国詩歌集』（目黒書店、1942）収録の詩「必死の時」の読解を進め、その発想の基となる思想について検討した。</p> <p>③ 高村光太郎の芸術評論に関する調査 『印象主義の思想と芸術』（天弦堂書房、1915）をはじめとする大正期の芸術評論について読解を進めた。同時代の美術評論などの資料と較検討し、高村光太郎の思想形成の一端について考察した。</p>
2. 学術論文・学会発表等	学術論文：「夏の夜の食慾」解釈、『高村光太郎研究』、第 40 号、pp. 20-33、高村光太郎研究会（2019 年 4 月）。
3. 今後の課題	今年度並行して進めた詩の読解と芸術評論の調査について、今後は道程期の詩と芸術理論、また戦争期の詩と芸術理論の両者を関連付けることを主眼にして研究を進める予定である。